

職員向けアンケート

放課後等デイサービスあごらクラブ評価表

令和2年7月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	0	拾いスペースが確保されており、日々、職員で整理整頓を行い、児童が活動しやすい環境作りを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	0	安全な支援を目標に児童に応じた職員配置を徹底している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	0	スロープ、手すりは設置されているがトイレにシャワーが配備がされていないため別途道具(陰洗用のボトルシャワー)を購入して対処している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	3	全体会議には、非常勤の職員にも参加を促し、業務改善の意見を積極的に募っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	保護者用アンケートで頂いた意見は、全体会議で職員に周知し、業務改善できるように検討していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	4	0	糸島市社会福祉協議会のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	0	苦情解決は、第三者委員が設置されており、ヒヤリハット、事故の報告を行い、第三者委員から意見を頂き、支援の改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	3	0	外部研修受講後は、伝達講習を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	月に1回の支援会議、日々、グループ単位で会議を行い児童の行動評価を実施し、情報共有できるように取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	0	太田ステージ、フロスティック視知覚発達検査、FIMを使用できるように学習会を実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0	日毎で担当を決め、担当者を中心にプログラムの活動を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	学習内容も目標に沿って内容を変化するよう配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2	0	活動時間に応じて課題の提供量、制作の工程数を調整している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	児童に合わせて、学習課題、運動課題、生活動作課題、遊びなどの支援内容を検討している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	支援前の昼礼で来所者の確認、送迎の確認、注意事項の確認を実施し、グループ単位で支援の内容確認、役割分担の確認を実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	6	0	支援終了後は、送迎業務、職員の退勤により振り返りが不十分となっている。日誌を活用して振り返るようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	支援記録は、二重チェックして記録漏れがないよう徹底している。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	定期的には保護者との面談を行い、モニタリングによる聴取、評価を実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	5	0	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせた活動を行っている。新規雇用の職員にガイドラインを配布し、研修会を検討していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	0	児童発達支援管理責任者と常勤の支援員の二名が会議に参加するようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	1	0	担任の教員、特別支援学級の担任と適宜、電話、直接会い連絡を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	6	1	てんかん発作が出現する児童で服薬調整期間において、急変時の対応等を保護者を通して指示をもつらつようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	5	0	実施できていない児童もいるため、今後、保育所等と積極的に連絡調整を行うよう取り組んでいく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	2	保護者が希望される場合は、書面を使用して情報提供できるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	3	保護者の希望に応じて、主治医に対して、支援内容と経過を記録して情報提供を実施している。また、受診への同行も実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	4	障害のない児童との関わりをつくれていないが地域の催しに積極的に参加するよう取り組んでいる。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	4	0	地域で定期的実施されている会議、交流会に参加している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	保護者に日々の様子をサービス提供記録に記入して頂き、必要であれば電話で状況確認を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	2	モニタリング、計画作成時の面談や事業所内相談を適宜実施し、自宅のできる支援について提案、事業所での支援方法を保護者と共有している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	3	0	契約説明時、計画作成時、保護者からの問い合わせがある際実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2	0	保護者の希望に応じて適宜、面談、相談の場を準備するように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5	2	長期休暇前に保護者会を実施し、保護者間の交流ができるように取り組んでいる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	0	契約説明時に苦情受付の体制を説明している。実際に苦情が発生した際は、第三者委員会への報告、助言を頂き、適切な対応ができるように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4	2	ブログを作成しているが、周知されていない保護者もいるため保護者会でブログについて紹介していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	1	0	個人情報に関する書面は、鍵付きの棚で管理するように徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	3	0	絵付きの資料や色分けの書類を準備して説明するよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	3	多数の地域住民を招待する活動は、実施できていない。事業所の行事には、ボランティアを募集して活動へ参加してもらっている。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	3	0	マニュアルを制定しているが保護者への周知ができていないため保護者会を活用して周知を図っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	4	0	年に1回、利用児童を含めて避難訓練を実施している。災害マニュアルの見直し、職員への周知を実施していく必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	1	県の虐待研修に参加し、伝達講習を実施している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1	0	身体拘束を行う場合、保護者に必要性を説明し、了承を頂き、同意書の作成と個別支援計画を変更するようにしている。また、実施した場合は、支援記録に記載するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	4	0	医師の指示を必要とする児童がいない。今後、対応が必要な児童がいる場合、医師、保護者に確認して対応を検討していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	月に1回の全体会議でヒヤリハット報告を実施し、情報共有に努めてる。

※対象職員人数13人 未実施3名(退職のため)